

あとがき

本研究部会は諸先輩方が、毎年事務局を持ち回りで担当しながら、多くの実践を積み重ねてきました。今年度の事務局を仰せつかり、右も左もわからない中でしたが、多くの先生方や関係機関の方々のご協力をいただきながら会の運営を行うことができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、今年度の県大会は小中合同開催とし、午前中には栗原山麓ジオパーク研修を行いました。平成20年に発生した宮城・岩手内陸地震によって、東京書籍の1年生の教科書にも写真が掲載されている荒砥沢崩落地をはじめとした、地震による地殻変動を体感できる場所を見学していただきました。普段立ち入ることのできない崩落地の冠頭部の見学を林野庁の協力を得て行い、参加された会員の皆様からも好評を頂けたようで何よりでした。

午後からは、公開授業を志波姫中学校の大泉先生にご提供いただきました。その後の検討会にも参加させていただき、私自身も非常に勉強になりました。また、その後は県内各地区から4名の先生に研究発表として貴重な実践の成果を発表していただきました。参加された先生から時間が足りなかった、もっとじっくり聞きたかった、との感想を多くいただきました。これは一重に発表された先生方のお力によるものです。ありがとうございます。この研究紀要の中にも当日の指導案や研究発表の資料を収めさせていただきました。

この他にも、県内各地区の研究会での活動の様子や地区研究会での指導案等もご提供いただき、掲載することができました。これらの優れた実践の積み重ねが、本県の理科教育をさらに発展させていくことになるものと確信しています。

本研究会の事務局を仰せつかった際には、私で務まるのであろうかと正直不安に思うことばかりでしたが、曲がりなりにも責務を果たすことができたのは、ご指導、ご助言をくださった先生方のご助力によるものです。不手際もあり、ご迷惑をおかけすることもあったかと思いますが、1年間事務局として貴重な経験をさせていただきました。

多くの皆様方のご助力の下、ここに今年度の研究紀要をお届けすることができました。これもお忙しい中で貴重な原稿を快くお寄せ下さった先生方のお陰です。衷心より感謝申し上げます。

今後とも、本研究会が益々発展することを祈念いたします。

平成30年3月

平成29年度

宮城県連合中学校教育研究会 理科研究部会  
事務局 栗原市立瀬峰中学校 高橋 大輔